

分科会

2015年6月28日

分科会は、3つのテーマで開催されました。

第1分科会では、「理念と事業を結ぶもの～生協アイデンティティ再考～」というタイトルで、生協事業の特質である理念を事業として展開し続ける「継続的なイノベーション」を実践するための実現条件や課題を、今年のシンポジウムに引き続きコープみやざきの事例を踏まえながら検討しました。

第2分科会では、「食と農、地域を守る」という願いを実現するための実践プログラムを議論すべく、一般社団法人置賜自給圏推進機構の井上肇氏より、山形置賜自給圏構想についてご紹介いただきました。産直や地産地消をバージョンアップする方法はあるのか、加速化する自由貿易化の中でどのような仕組みづくりが必要なのかを検討しました。

第3分科会では、東日本大震災から4年が経過した福島で何が問題となっているのかを、福島原発避難者訴訟原告団団長の早川篤雄氏と浜通り医療生協組織部主任の工藤史雄氏の2名から直接現場の状況についてお話をいただきました。毎年途切れることなく、現場の方から直接お話を伺い、現実を見つめ原発や震災について考え続ける必要があります。

どの分科会におきましても、報告者だけでなくフロアからも積極的なご意見をいただくことができ、多くの方々と情報交換しながら議論を深めることができました。今後の活動に活かしていただくことができれば大変嬉しく思います。

(本誌副編集長 青木美紗)

分科会で報告・コメントをいただいた方々

第1分科会



的場 信樹氏



二場 邦彦氏

第2分科会



井上 肇氏



中嶋 陽子氏

第3分科会



早川 篤雄氏



工藤 史雄氏



安斎 育郎氏



久保 建夫氏